

■第2回北東北三県共同展

北東北自然史博物館～大地と生きものふしぎ旅行～

会期 平成19年9月22日(土)～11月11日(日) 会場 特別展示室(第1会場)・いわて自然史展示室(第2会場)

主催 北東北三県共同展実行委員会：岩手県立博物館 岩手日報社 秋田県立博物館 青森県立郷土館 秋田魁新報社 東奥日報社

はじめに

北東北三県共同展は、北東北三県の結びつきが強まる中で、青森・岩手・秋田の各県立博物館においても、お互いの研究成果や所蔵品を持ち寄り、北東北の共通性と多様性を探ることを目的に企画されました。

第1回目は平成16年度に「描かれた北東北」というテーマで人文系部門が担当し、成功裏に終了しました。

それから3年を経て、第2回目となる今回は、自然史系部門が中心となり、北東北三県の数億年に及ぶ大地の歴史と豊かな自然に生きる生物を、1000点以上もの貴重な標本や写真で紹介します。3館が協力することで初めて実現できた、スケールの大きい展示をお楽しみください。

◇プロローグ～自然との新たな出会い～

衛星写真からみた北東北のすがた、地球史から見た北東北、各県それぞれを代表する花・鳥・樹木・魚などを紹介します。

◇5億年の大地

北東北には、今から約5億年前の古生代にはじまり、中生代、新生代、そして現在にいたる各地質時代の地層や岩体が分布しています。また、三葉虫やアンモナイト、恐竜、哺乳類などの化石も目にする事ができます。大地の変動の歴史を物語る岩石や青森・秋田・岩手の三県から見つかった化石を通して、5億年におよぶ北東北の大地の変遷をたどってみます。生きものの進化や大地の変動の歴史が今日の北東北の礎になっていることがわかるでしょう。このコーナーでは、南部北上山地が赤道付近にあった、それがアジア大陸の一部になった、日本海が割れて日本列島ができた、というような地質学的に大きな事件を節目として展示ストーリーを展開します。

展示予定資料：ナウマンゾウの歯化石、三葉虫化石等



イワキサングジラの産状 (弘前市湯段)

◇生きものたちの分布のふしぎ

本州の北端に位置する北東北は、生きものたちの分布を考える上で興味深い地域です。津軽海峡を渡れずこの地域が分布の北限となった生物や、気候や地史的要因などから、北東北より南に分布しない生物が存在します。また日本海側と太平洋側では、海流の違いや降雪量の違いなどが要因となって、生物相が異なっています。さらに、きわめて狭い地域にだけ分布する種もあります。大地の歴史の違い、気候の違い、それらを背景にした生きものそれぞれのたどった歴史の違いが、北東北の中でも地域ごとに多種多様な生物相をもたらしています。

展示予定資料：アオスジハゲハ、ユキツバキ写真等



コルリクワガタ雄

◇変わりゆく生きもの世界

地質時代の大量絶滅とは異なり、有史以降の生物の絶滅は、私たち人間活動等の開発行為によるものがほとんどです。21世紀の今日、そのスピードは加速され、おそろしいほど多くの生物が絶滅の淵に追い込まれています。

展示予定資料：ニホンオオカミ剥製、クマゲラ剥製標本等



岩手県産ニホンオオカミの雌
(東京大学農学生命科学研究科蔵)

◇人は自然とともに生きてきた

北東北の人々は自然界からたくさんのめぐみを受けてきましたが、一方で自然の脅威にもさらされてきました。このコーナーでは、人と自然とのかかわり合いの中の正の部分と負の部分を紹介し、現代の私たちがどのように自然との関係をつくっていけばいいのかを考えます。

展示予定資料：クニマス、カワシンジュ
ガイ標本等



カモシカマダニ



シラガミクワガタ

◇エピローグ～自然と出会う旅へ～

優れた自然に触れることができる場所を、三県それぞれ紹介します。もちろん、これ以外にも素晴らしい場所がたくさんあ

りますし、あるいは何の変哲もない裏山が自分にとっては次々と新発見がでてくるかけがえのないフィールドであるかもしれません。

おわりに

この展覧会をきっかけにして、北東北の素晴らしい自然に出会いに出かけてみませんか？
(学芸第三課長 藤井忠志)

共同展のご案内

●観覧料（常設展もご覧になれます）

大人500(240)円

学生240(120)円

高校生以下100(50)円

※()内は20名以上の団体割引

※11月3日の文化の日は観覧無料

※常設展のみの観覧は通常の入館料

(大人300円、学生140円、高校生以下無料)

●会期中の休館日

【9月】25日(火)

【10月】1日(月)・9日(火)・15日(月)・

22日(月)・29日(月)

【11月】5日(月)

共同展関連事業のご案内

■文化講演会

11月3日(土) 13:30～15:30 地階講堂 聴講無料 当日受付

「ブナ林とはどういう林なのか」

講師：中静 透 氏（東北大学大学院生命科学科教授）

■秋期博物館セミナー～北東北三県共同展 関連講座～

①9月23日(日) 13:30～15:30 地階講堂 聴講無料 当日受付

「北上山地の生い立ち - 赤道からやってきた南部北上古陸 -」

講師：永広 昌之 氏（東北大学総合学術博物館教授）

②10月7日(日) 13:30～15:30 地階講堂 聴講無料 当日受付

「鳥がはこぶ木の種のゆくえ」

講師：正木 隆 氏（森林総合研究所森林植生領域群変動態研究室長）

③10月28日(日) 13:30～15:30 地階講堂 聴講無料 当日受付

「大きな木の実を運ぶのはだれ？～ネズミを生かしネズミに生かされる栃の実～」

講師：星崎 和彦 氏（秋田県立大学生物資源科学部助教）

④11月11日(日) 13:30～15:30 地階講堂 聴講無料 当日受付

「岩手の化石からカキの進化を探る」

講師：鎮西 清高 氏（京都大学名誉教授）

■展示解説会 各回とも展示会場

①9月22日(土) 9:30～10:30

②9月24日(月) 14:00～15:00

③10月21日(日) 14:00～15:00

④11月4日(日) 14:00～15:00

■観察会 要事前申し込み

①第54回自然観察会 9月30日(日)

盛岡市四十四田ダム周辺で、帰化植物を観察します。 講師：当館学芸員

②第54回地質観察会 10月14日(日)

岩泉町でモシリユウの産地と中生代の植物化石を観察します。 講師：当館学芸員